

DELL UNITY XT 5.2 ローンチ セールス ガイド

Dell Unity XT ハイブリッド フラッシュ アレイ



多くの企業にとって魅力的な
ストレージソリューションです。

DELL Technologies
PARTNER PROGRAM

インテル® Xeon®
スケーラブル プロセッサ搭載



販売プロフィール

市場

IDCの予測によると、HFA市場は2025年まで5.1%のCAGR成長が見込まれています。

状況

妥協のないストレージでITトランスフォーメーションに対応し、NVMe/オールフラッシュテクノロジーの速度や低レイテンシーなどの性能を必要としない汎用ワークロードを実行します。

ペルソナ

ITジェネラリスト、IT管理者、ITストレージ管理者、取扱製品/アプリケーション管理者

目的

オールフラッシュ/NVMeアーキテクチャを必要とせず、効率性と価格を重視する販売機会においてUnity XTハイブリッドフラッシュアレイを提案し、オールフラッシュの販売機会では代わりにUnity XT AFAを使用したPowerStoreを提案します。



インテル® Xeon® スケーラブル プロセッサ搭載



開始時の質問

1

ビジネスにおけるITの制約に対処していますか？

2

ITトランスフォーメーションの一環として、ITインフラストラクチャのパフォーマンスと効率性を向上したいとお考えですか？

3

シンプルさ、管理の容易さ、効率性、利用率などの問題に苦慮していますか？

4

マルチクラウド導入オプションを備えたストレージシステムが必要ですか？

5

ワークロードの自動化とオーケストレーションをストレージインフラストラクチャ内に含めようとしていますか？

6

Dellのストレージインフラストラクチャ全体で、より詳細なストレージ分析が必要ですか？

7

大都市間の距離でデータのレプリケーションを行うためのソリューションが必要ですか？

ITの課題



データの増加/予算の制約

中堅企業のお客様は、予算が増えていないのにデータが増加していることに苦慮しています。



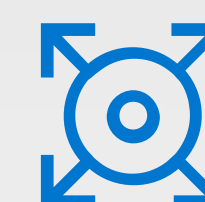
複雑性

IT部門は、インストール、設定、管理、サポートが容易な機能を備えたミッドレンジ ストレージ管理とクラウド アクセスから複雑さを排除する必要があります。ストレージ ライフサイクルがシンプルであることが、真の要件となっています。



パフォーマンスと容量

中堅企業は、実効容量を増加させる卓越したデータ削減率と連携した、価格/パフォーマンスと拡張性を求めています。



柔軟性

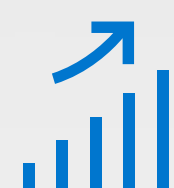
IT部門は、さまざまなビジネス設備投資/運用コストの要件を満たすために、柔軟な導入オプションと消費モデルを提供できる必要があります。

セールストークのアピールポイント



パフォーマンス

Unity XTハイブリッドフラッシュアレイは完全に統合されており、スタイリッシュな2Uフォームファクターを備え、オールフラッシュのパフォーマンスとサブミリ秒のレイテンシーを必要としないワークロード向けに設計されています。Unity XT HFAは、最新のインテル™デュアルソケットプロセッサと、以前のUnityモデルと比較してIOPSパフォーマンスを2倍にする大容量のコントローラメモリを最大限に活用しています。Unity XT HFAには、システム全体のパフォーマンスを自動的に向上させるFAST Cache (SSDリードキャッシュ) ソフトウェアが付属しています。より多くのパフォーマンスと容量を必要とする一方で、既存の投資を保護したいユーザーの場合、オンラインのデータインプレースコントローラアップグレードがサポートされています。



効率性

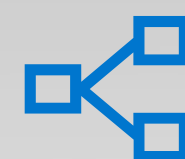
HFAユーザーは、オールフラッシュおよびハイブリッドプールのインラインデータ削減によってデータの増加を賄うことができ、15.36TBのSSDにより2Uで最大1PBに達する密度指標を作成できます。

また、競合システムとは異なり、Unity XTはデータを確実に利用できるデュアルアクティブコントローラアーキテクチャです。Unity XT HFAには、システム全体の効率性を自動的に向上させるFAST VP (自動階層化) ソフトウェアが付属しています。Unity XT HFAは、ハイブリッドおよびオールフラッシュのデータプール全体で動的プールをサポートするようになりました。これにより、容量を追加する際の効率性が向上し、コストが削減されます。



マルチクラウド

Unity XTアレイは、VCFを使用した検証済みの設計、クラウド階層化/アーカイブ、FactionやUnity XTソフトウェアデファインドストレージにより実現されるマルチクラウドデータサービス、Cloud Edition、VMware Cloud in AWSクラウドなど、マルチクラウド環境に接続するためのさまざまなオプションをサポートしています。



DevOps

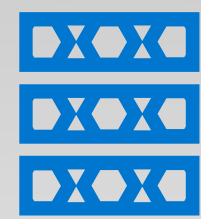
1. コンテナは瞬く間にソフトウェアアーキテクチャの新しい枠組みになりつつあり、Kubernetesはコンテナオーケストレーションプラットフォームの人気の選択肢として浮上してきました。デル・テクノロジーズは、ソリューションの開発に重点を置いています。これにより、コンテナ化されたワークロードをお客様が効率的に実行しつつ、DevOpsワークフローでパワフルなストレージ統合を活用できるようになります。Unity XTでは、コンテナストレージインターフェイス(CSI)プラグインに対応、Kubernetesワークロードを実行できます。
2. オートメーションは、プログラミング集中型で保守が困難なスクリプト作成を行う必要がなくなるため、IT調達に関する議論の主要なテーマとなっています。VMware vRealize Orchestrator (vRO)などのツールでは、ドラッグアンドドロップ環境を利用して、インフラストラクチャの運用とサービス提供タスクを迅速に自動化できます。Unity XTはvROプラグインテクノロジーに対応しているため、お客様はインフラストラクチャスタック全体に及ぶエンドツーエンドのワークフローを自動化できます。



Metroノード

Unity XTオールフラッシュおよびハイブリッドフラッシュアレイ向けのハードウェアアドオン機能であり、大都市間の距離での真のアクティブ/アクティブ同期レプリケーションを提供します。また、Metroノードは、ワークロードを無停止で再配置することによって、アプリケーションのダウンタイムを発生させることなくストレージテクノロジーを更新できるようにします。

製品の特長



設計

99.999%の可用性を実現するように設計されたデュアル アクティブ コントローラー アーキテクチャ（一部の競合他社ではこれを搭載していません）、インテル デュアル ソケットCPU、大容量ストレージ プロセッサ メモリー、12Gb/秒バックエンド、ユニファイドストレージ設計、オンライン データ イン プレース コントローラー アップグレードを実行する機能



シンプルさ

Unity XTは、直感的で使いやすいUnisphere HTML5インターフェイスを使用して、購入からインストール/設定、管理、サービス化まで、ストレージのライフサイクル全体に対応するように構築されています。



柔軟性

Unity XTは、UnityVSAおよびVMC搭載Cloud Editionを備えたオンプレミスの仮想ストレージ アプライアンスとしてAWSクラウドや物理アレイに導入したり、Dellコンバージドインフラストラクチャ システムに組み込んだりすることができます。

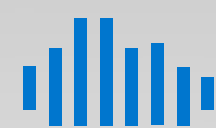


包括的なソフトウェア

各Unity XT HFAには、データを保存、管理、保護するための包括的なファイルおよびブロックデータ サービス ソフトウェアのセットが付属しています。インライン データ削減、ネイティブ コントローラー ベースの暗号化、統合スナップショット、完全コピー回避による統合同期/非同期レプリケーション、動的プール、Metrosyncの管理、拡張性の高い256TBuファイル システム、VMware/MSFT/OpenStackの統合、REST API、ESAアダプター、ファイル レベル保存期間設定、QoS、IPマルチテナンシー、ウイルス対策、FAST Cache/FAST VP、CloudIQ、マルチクラウド対応、統合およびサードパーティのデータ移行が含まれます。Unity XTには、数量限定のRecoverPoint Basicライセンスも付属しています。

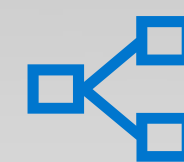


製品の特長



ストレージ分析

CloudIQは、テレメトリー、機械学習、その他のアルゴリズムを使用して、アレイ、修復に関するアドバイス、異常、容量予測、再利用可能なストレージなどの運用状態を説明する通知と予測分析をユーザーに提供するDellのクラウドベースのAIOPです。



DevOps

Unity XTは、Kubernetesワークロードを使用しているお客様向けのDellコンテナストレージインターフェイス(CSI)プラグインと、インフラストラクチャスタック全体にわたるエンドツーエンドのワークフローを自動化するお客様向けのvROプラグインテクノロジーをサポートしています。



Metroノード

大都市間の距離での真のアクティブ/アクティブ同期レプリケーションにより、RPO（目標リカバリーポイント）とRTO（目標復旧時間）がダウンタイムゼロに等しい両方のサイトでの同時書き込みを可能にします。

Dell Technologies
PARTNER PROGRAM

インテル® Xeon®
スケーラブルプロセッサ搭載



ハイブリッドフラッシュアレイ市場での IDC

IDC Technology Spotlight、2022年4月

1. AFAの人気にもかかわらず、HFAは2022年に収益が138億ドルに達し、2025年までのCAGR成長は5.1%になると見込まれています。
2. お客様がHFAを購入する主な理由は、経済、柔軟性、管理に精通していることです。
3. HFAは、ワークロードに一貫したサブミリ秒の応答やオールフラッシュ/NVMeの速度が必要ない場合に使用できます。
4. 適切なワークロードを組み合わせ、プライマリー本番環境にHFAを使用すると、TCOが大幅に削減される可能性があります。
5. Dellの課題は、常に2つのタイプのアレイの違いを引き出し、お客様の特定のワークロード要件を満たす最もコストパフォーマンスに優れたアプローチをお客様が理解できるようにすることです。このようなアドバイスができれば、ストレージベンダーから信頼できるアドバイザーへと脱皮できます。

DELL Technologies
PARTNER PROGRAM

インテル® Xeon®
スケーラブルプロセッサ搭載



競合情報

Dell Unity XTの競合製品との比較

- ・ Hitachi G/F
- ・ HPE Nimble/Primera
- ・ Huawei OceanStor
- ・ IBM FlashSystem
- ・ Infinidat InfiniBox
- ・ NetApp FAS/AFF
- ・ Pure FlashArray //C

DELLTechnologies
PARTNER PROGRAM

インテル® Xeon®
スケーラブルプロセッサ搭載



セールスの位置付けとガイダンス

Unity XTとPowerStoreの位置付けは次のようになります。

1. オールフラッシュの販売機会ではPowerStoreを提案します。

Unity XT AFAは、お客様が以下を必要とする場合にのみPowerStoreの代替製品として位置付けます。

- ・ マルチクラウドの相互運用性、ソフトウェアデファインド ストレージ、米国連邦政府認定、高度なファイル機能、ネイティブ同期レプリケーションなど、お客様がUnity XTを維持したいと考えている機能。

2. Unity XT 380Fの販売機会ではPowerStore 500を提案する必要があります。

Unity XT 380Fは、PowerStore 500がまだ稼働していない状況では利用できません（米国連邦政府など）。

3. ハイブリッドフラッシュの販売機会ではUnity XT HFAを提案します。

適切なUnity XT HFAの位置付け：

1. お客様が導入価格、GBあたりのコストの低さ、高度な重複排除を求めている新しい販売機会ではUnity XT 380を提案します。
2. Dell EMC Unity 300および400アレイを更新する場合はUnity XT 480を提案します。
3. Dell EMC Unity 500および600アレイを更新する場合はUnity XT 680を提案します。
4. Dell EMC Unity 600を更新し、稼働中のVNX7600およびVNX8000システムを更新する場合は、Unity XT 880を提案します。

DELLTechnologies
PARTNER PROGRAM

インテル® Xeon®
スケーラブルプロセッサ搭載

